

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地												
トライデントコンピュータ専門学校	昭和59年3月31日	勝田雅人	〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅3-24-15												
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地												
学校法人河合塾学園	昭和53年8月1日	河合英樹	〒464-8611 愛知県名古屋市千種区今池2-1-10												
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士											
工業	工業専門課程	Webデザイン学科	平成6年文部科学省 告示第84号	—											
学科の目的	Web制作の基礎から始め、Webデザイン、動画や音声を取り入れるFlash技術など、Webサイトを構築するための専門知識を学び、卒業後には業界即戦力のWebデザイナーやディレクターを目指す。														
認定年月日	平成26年3月31日														
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技								
2年	昼間	1800時間	420時間	1560時間	0時間	0時間	0時間								
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数										
70人	40人	0人	3人	1人	4人										
	■前期:4月1日~9月30日 ■後期:10月1日~3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 成果物、小テストによる総合判定											
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:8月6日~9月4日 ■冬季:12月27日~1月6日 ■学年末:3月4日~3月31日		卒業・進級条件	進級・卒業は当年次に30単位以上取得して、進級もしくは卒業判定会議で承認されること											
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 個別、あるいは保護者同席での面談		課外活動	■課外活動の種類  ■サークル活動: 有											
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和2年度卒業生) (株)アルタ、(株)ツリービレッジ、(株)ソーゴー、(株)中日本開発、(株)エーピーテック、キューコーポレーション(株)、(株)ITreat ■就職指導内容 キャリアデザイン、就職ガイダンス、企業研究、就職研究、面接指導など ■卒業者数 22 人 ■就職希望者数 21 人 ■就職者数 20 人 ■就職率 : 95.2 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 90.9 % ■その他  令和3年度卒業者に関する 令和4年5月1日時点の情報)		8.88889E+18	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業者に関する令和4年7月31日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Webクリエイター能力認定試験(エキスパート)</td> <td>③</td> <td>22人</td> <td>22人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)  ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等 第16回若年者ものづくり競技大会 敢闘賞 第5回専門学校HTML5作品アワード 2作品入選				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	Webクリエイター能力認定試験(エキスパート)	③	22人	22人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数												
Webクリエイター能力認定試験(エキスパート)	③	22人	22人												
中途退学の現状	■中途退学者 3 名 令和3年4月1日時点において、在学者45名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者42名(令和4年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 (例)学校生活への不適合・経済的問題・進路変更等 学業不振 ■中退防止・中退者支援のための取組 個別面談、保護者との連携、学費援助制度の導入、臨床心理士カウンセリング		■中退率 6.7 %												
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 トライデント奨学生制度…在学中に学業優秀と認められた学生は進級時に特待生として認定し、面接等の選考試験を行った上5万円から30万円授業料を免除 トライデント同窓会奨学生制度…同窓会より、人物、学業成績が優秀で就学上経済的援助が必要な学生に対し、若干名に年額上限10万円給付 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象														
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無														
当該学科のホームページURL	<a href="https://computer.trident.ac.jp/">https://computer.trident.ac.jp/</a>														

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

常に業界第一線の状況を把握し、最先端の知識や技術を学校として吸収し教育内容に反映していくことはもちろんのこと、学生への教授についても第一線の仕事のすすめ方なども熟知したうえで実施するため、本校で開催する教育課程編成委員会においては、関連企業、業界団体、学識経験者等からの要請、提言を聴取し、該当学科、ひいては学校全体の教育運営に資することを目的とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

上記の方針により設置される教育課程編成委員会は学科の諮問、支援会議体として校長の委嘱を受けた委員により、該当学科の授業科目の設定、授業内容の改善、授業手法の開発・改善など全般的な助言を行う。提出された助言については、校長、教務チームにおいて協議のうえ学科主任に指示し、実行や改善に着手する。また、教育課程編成委員会からの助言とその助言に基づく学校としての改善実行計画については、別の委員会である学校関係者評価委員会で特に言及し評価を受けるものとする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
平田 克二	特定非営利活動法人インターネットスキル認定普及協会	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	①
大和 誠司	株式会社グランフェアズ	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	③
金山 雅嗣	株式会社アルタ	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	③
山本 一道	有限会社アップルアップル	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	③
勝田 雅人	トライデントコンピュータ専門学校 校長(学校責任者)	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	
中原 千賀子	トライデントコンピュータ専門学校 教務チームチーフ	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	
福井 由紀	トライデントコンピュータ専門学校 キャリアセンターチーフ	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	
河口 英生	トライデントコンピュータ専門学校 Webデザイン学科 学科主任	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	
高木 寛貴	トライデントコンピュータ専門学校 Webデザイン学科 学科担当	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回開催 ①8・9月 ②2・3月

(開催日時)

第1回 令和3年8月24日 16:00～17:30

第2回 令和4年2月15日 16:00～17:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

昨年度の進級展でいただいたご意見をもとに、3分野に分けての制作を実施した。これらの変更については問題なく進められたので次年度以降も引き続き実施していくこととした。学生作品の講評をしていただける場があると学生にとっても有意義であるという意見をいただいたので、次年度については、ポートフォリオや作品講評の場を増やすこととした。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業との連携による演習等の科目においては、企業の業務水準を現実的に体感させることを主目的に設定する。疑似体験的な演習講義を通じて、企業で日常使われている技術・知識を体験、習得させる。また、授業を通じて学生たちが生み出した成果物に対する評価においても、学校という教育環境下での評価ではなく、市場を見据えた企業の現実の評価基準での判定を実施していただく。また、こうした演習全体を通じて、社会人基礎力を涵養していくことも合わせて目的に設定する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

Webに関する実践的な授業を行うため、企業から当該企業に所属するWebデザイナーを講師として派遣し、校内の実習施設や設備等を活用した指導などの協力を得られる企業を選定している。また、校内実習の実施にあたり、企業等から課題を提示し、派遣された講師による年間を通じた定期的な指導から学修成果の評価を行うなどの体制をとることが可能な企業を選定している。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
マーケティング基礎	1年生後期にマーケティングの基礎知識を対話形式で学び、実際のクライアントを題材に分析・企画立案をし、発表までを行う。 2年生前期の「Webサイト制作」において「マーケティング基礎」での知識を実践に活用する。	株式会社アルタ

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係
<p>(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針</p> <p>専門学校教員として、自己の専門分野における最先端の知識・技術の習得のために、業務上一定の時間を費やすことを学校として求めている。研修等の諸規程に定められている通り、年度当初にチーフと学科主任、各教員で実施する研修についての年間計画を立案し1名あたり2～3回の研修を義務付けている。教員はそれらの研修を通じて各々が専門分野の知識向上に努めている。ただし、個人の努力目標のみではなく、業界第一線の知識・技術の習得については学校として機会を積極的に提供していく。また、専門知識のみではなく、授業に関わる技術など教育力向上のための機会についても年度当初に年間計画を立案し、1回以上の実施を法人全体の課題として取り組んでいく。</p>
<p>(2)研修等の実績</p> <p>①専攻分野における実務に関する研修等</p> <p>研修名「進化するフロントエンド2021」(連携企業等:株式会社グッドパッチ)  期間:令和3年6月21日(月) 対象:学科講師  内容:フロントエンド技術の活用について</p>
<p>研修名「〈NFTアート〉の可能性と課題」(連携企業等:情報科学芸術大学院大学)  期間:令和3年11月19日(金) 対象:学科講師  内容:NFTアートの可能性と課題について</p>
<p>②指導力の修得・向上のための研修等</p> <p>研修名「教職員向けメンタルヘルス対応研修～適切な対応方法の検討～」(連携企業等:キャリアサポートオフィス process)  期間:令和4年2月24日(木) 対象:全講師  内容:学生のメンタルヘルス対策</p>
<p>(3)研修等の計画</p> <p>①専攻分野における実務に関する研修等</p> <p>研修名「クロスプラットフォーム開発2022 Flutter・React Nativeの導入と実践」(連携企業等:クルーズ社)  期間:令和4年7月27日(水) 対象:学科講師  内容:CTOやPM・メンバークラスそれぞれの視点でクロスプラットフォームに関するtipsを得る勉強会</p>
<p>研修名「Design Ship 2022」(連携企業等:一般社団法人デザインシップ)  期間:令和4年11月12日(土)・13日(日) 対象:学科講師  内容:プロダクト・グラフィック・映像などデジタル領域のデザインカンファレンス</p>
<p>②指導力の修得・向上のための研修等</p> <p>研修名「学びの質を高める授業改善と退学防止」(連携企業等:株式会社授業学研究所)  期間:令和4年8月30日(火) 対象:全教員  内容:授業効果を高める授業方法について</p>

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

校長直属の委員会として学校関係者評価委員会を設置し、「学校自己点検・評価報告書」および「授業科目等の概要」を中心に学校に対する外部評価を実施する。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念・教育目的、教育目標、教育目標の周知、独自性の高い教育内容・手法、教育手法に対する各方面からの評価
(2) 学校運営	学校運営の方針、学校組織の運営・意思決定プロセス、組織の活性化、業務の効率化
(3) 教育活動	各学科の概要と学修目標、教育目標とカリキュラム編成、カリキュラムに対する評価体制、各学科のカリキュラム編成方法、IT業界人材ニーズの把握、授業計画・コマシラバス、インターンシップ、授業・科目の編成、専門教育・一般教育の配分や考え方、実習の意義、キャリア教育、教育方法の工夫、授業内容の把握・分析・評価体制、講師の採用基準、現在の講師陣の状況、講師の専門性把握および教育スキルの向上、成績評価・単位認定の考え方、資格取得、退学についての考え方
(4) 学修成果	資格取得指導、資格取得状況、卒業生に対する評価、在校生の作品成果・受賞の状況
(5) 学生支援	就職指導の全体方針、就職指導体制、就職指導管理・就職実績、具体的就職指導、学生生活相談、奨学金や学費についての支援、学生の健康診断、クラブ活動、卒業生支援(同窓会)
(6) 教育環境	学校施設・設備の充実、防災、保健衛生管理
(7) 学生の受入れ募集	入学選考の考え方、学生募集活動の考え方
(8) 財務	予算・監査
(9) 法令等の遵守	法令等の順守
(10) 社会貢献・地域貢献	法令遵守の方針、個人情報保護の方針、学校自己点検・自己評価及び第三者評価
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

ITリテラシーに関する教育が行えているかとの指摘があった。現状も授業の中で必要に応じて実施しているが、教職員に共有しより注力して取り組んでいくこととする。

自己点検自己評価報告書の具体的な改善がわかりにくいとの指摘があったため、次年度以降はすぐに着手できるものについてはエビデンスも入れて具体的に報告できるように努めていくこととする。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
鈴木 貴宏	株式会社ハ・ン・ド	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	企業等委員
高野 正義	NPO 法人キャリアアップセンター	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	企業等委員
酒井 章次	株式会社ジェイテック	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	企業等委員
内田 武司	愛知県立春日井商業高等学校	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	高校教諭
篠原 たかこ	公益財団法人 画像情報教育振興協会(CG-ARTS)	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	業界・職能団体
鈴木 敬	株式会社プリアップパートナーズ	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	業界・職能団体

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページで公表(毎年7月末日に)

URL: <https://computer.trident.ac.jp/>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

広報的作成物だけでなく、自己点検などの機会を利用して正確な情報を整理し、順次公開を進めていく。また、学生配付物についても、より多様な情報提供をリアルタイムで提供できるように取り組みを進めている。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	教育理念・教育目的、教育目標、学校運営の方針、特色、校長名、所在地・連絡先、学校の沿革、防災、保健衛生
(2)各学科等の教育	各学科のカリキュラム編成方法、年間の授業計画、進級・卒業の要件、資格取得・検定試験合格等の実績、卒業後の進路
(3)教職員	教職員組織図
(4)キャリア教育・実践的職業教育	実習の意義、キャリア教育、就職指導の全体方針、就職指導体制、就職指導管理・就職実績、具体的就職指導
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事、クラブ活動
(6)学生の生活支援	学生生活相談
(7)学生納付金・修学支援	学費、学費援助制度
(8)学校の財務	河合塾学園事業報告
(9)学校評価	自己点検・自己評価報告書
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL: <https://computer.trident.ac.jp/> ホームページで毎年7月末日に公表

授業科目等の概要

(工業専門課程Webデザイン学科) 令和4年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			社会人基礎力	1. 社会人としての適切なマナーや考え方を理解し、実際に取得する事で、社会に最適化できる人材として成長してもらう。 2. クリエーターが社会で活躍する為に持つべき正しい思考や行動の仕方を伝え、身に付けてもらう。 3. 自身の将来のロードマップの形成やキャリアパスの描き方の方法を知り、長きに渡り社会で活躍できる人材に成長する方法を理解してもらう。	1前	90	3	○	△		○		○	○	
○			一般教養	就職試験対策。筆記試験だけではなく、一般的なビジネスマナーも習得する。	2前	30	1	○			○			○	
○			コミュニケーションスキル	英会話、ワークショップを中心に、他者とコミュニケーションを深め、意志の疎通を行なう知識・技術を学ぶ。	2後	30	1	○			○			○	
○			企業研究	就職活動する業界・業種・職種を絞り込めるまでの企業研究を行う。 さらに、就職活動に必要なマナーの定着および履歴書添削も行う。	1後	30	1	○			○			○	
○			就職研究	個々の学生の就職活動の状況を把握し、効果的に就活を進めるための総合的サポートをおこなう。	2通	60	2	○			○			○	
○			業界研究 (Webリテラシー)	Webの基礎知識と最新のWeb業界の動向を知る。	1後	60	2	○			○			○	
○			アルゴリズム基礎	アルゴリズムとは何かを理解する。授業毎に、クイズ・パズル・ゲームなどで論理的な思考力を鍛えながら、プログラムの基礎となる「変数、条件分岐、繰り返し、配列、関数」について時間をかけて使いこなせるようにする。	1前	30	1	○			○			○	
○			HTML5基礎	1ページのWebサイトを、適切な方法で正確にマークアップすることができる知識を多くの課題をこなすことで修得する。	1前	120	4	○			○			○	

○		HTML+CSS実習	業務でサイトを構築する際に知っておくべきソフトの使い方、チームで作業する際に必要となるルール作りの方法と考え方、サイト表示速度を向上させるための方法と考え方などを幅広く学ぶと共に、ユーザビリティやアクセシビリティについても触れ、プロとしてのマークアップ技術・知識を修得する。	1 後	60	2		○	○	○			
○		JavaScript基礎	JavaScriptを通して、動きのあるサイト制作に欠かせないプログラミングの基礎を学ぶ。	1 後	60	2		○	○	○			
○		JavaScript実習	JavaScript基礎で習得した技術を利用して、Webアプリなどの作品を制作する。また、最新のJavaScriptの仕様などを学ぶ。	2 前	60	2		○	○	○			
○		Web開発基礎	WEB制作をとりまく環境を理解し、デザインや技術のみでなく、技術をより活かす効率化の技術を習得する。また、最低限WEB制作者として理解が必要なものを習得する。	2 前	60	2		○	○			○	
○		カラーデザイン	Webデザインに必要なカラースキームの知識、基礎構成力を学ぶ。	1 前	30	1		○	○			○	
○		グラフィックデザインⅠ	WebサイトのビジュアルデザインやスマートフォンアプリのUIのデザインを行っていく上で、重要となるグラフィックデザインの知識を身に付ける。 歴史のある分野から、確立された色や形、書体、構成などを学ぶことで、どんな依頼にも対応できる基礎知識を修得する。	2 前	60	2		○	○			○	
	○	グラフィックデザインⅡ	Adobe IllustratorとAdobe Photoshopに加えAdobe InDesignを利用することで、より商業デザインに注力した、リサーチ、検討を踏まえた制作を行っていく。	2 後	60	2		○	○			○	
○		造形演習	デザインの基礎となる知識を理解し、物の捉え方や表現力の基本を習得する。表現する上で全ての基本となるデッサンを主に行った後、応用となる色彩平面構成へと展開する。	1 前	60	2	△	○	○			○	
○		グラフィックイラスト	デザインの基礎～応用となる知識を更に理解し、物の捉え方や表現力の展開法を習得します。	1 後	60	2		○	○			○	
○		Webデザイン	基本的な画像の編集や合成作業でピクセルを理解する。 Webサイト制作に適したツールの設定や作品制作を通じて、Webデザインを学んでいく。	1 通	120	4		○	○			○	

○		CMS制作集中授業	WordPressのダウンロードからインストール、カスタマイズまで一連の作業を学び、簡単なブログ形式のサイトを構築することによりWordPressの基礎を学ぶ。また様々なプラグインを用いてクライアントが使いやすい管理画面の構築方法や、記事の書き方・アフィリエイトの知識までを幅広く学ぶ。CMS構築と仕組みへの理解を深めると同時にWebサイトのアクセスについて応用知識を身につけ、サイトの構築や企画、リニューアル時のアイデアとして役立たせる。	1後	60	2	△	○	○	○				
○		ベクターグラフィックス	Adobe Illustratorの基本操作及び各メニューの使用方法を学ぶ。各機能を利用する課題制作に取り組み、作品制作とソフトの基本操作を習得する。自由にパスを扱うために必要なスキルであるベジェ曲線の扱いをマスターする。	1前	60	2	○	△	○	○				
○		インタラクティブアニメ	昨今、魅力的な「コンテンツ」を考え実装するスキルが重要になっている。特に近年、モバイルやHTML5・CSS3の普及によりその傾向は急速に高まりつつある。そんな時代・ニーズに対応できる知識を実践を通じて学ぶ。	1後	60	2	△	○	○	○				
○		進級制作	進級制作展の制作、卒業制作のベースとなるようなサイト制作を行う。	1後	60	2		○	○	○				
○		マーケティング基礎	マーケティング戦略について座学と、有名企業の事例を元に学ぶ。マーケティングの基礎知識としての用語や手法を理解する。後半では、グループ演習を行い学んだ手法を活用するトレーニングを行う。	1後	30	1	○	△	○		○	○		
○		Webサイト制作	クライアント様を募り、実際に公開させていただけるWebサイトを制作することにより、現場に即した一連の流れを体験・習得する。クライアント様との連絡等、マネジメントは担当教員が行うが、ヒアリング・企画・設計・実装・テスト等の実作業は学生がすべて行う。	2前	120	4		○	○	○				
○		アプリ・Webサイト制作集中	Web技術を利用した作品を集中的に制作する。	2後	60	2		○	○	○				
○		電子コンテンツ制作	SVG・canvasを中心に新しい技術や様々な表現方法を学ぶ。その後、ゲームなどのコンテンツに応用し作品を制作することで、実践として身につけていく。	2通	120	4	△	○	○	○				



○		映像制作	Webサイトでも使用されるようになった映像の技術を学ぶ。	2後	60	2		○	○	○		
○		Webアプリ制作	Webサイト制作の実装以前のUX手法を使った制作や考え方を学びアプリ制作に活かしていく。 1. 観察することができる。 2. 構造化して見える化することができる。 3. 簡単なプロトタイプを制作し、検討、修正を繰り返すことができる。 4. プロトタイプをもとに制作する。	2通	120	4		○	○	○		
○		ポートフォリオ制作集中	各自ポートフォリオサイトの制作を行う。自分の魅力やターゲットの属性・行動などを明確にし、コンセプトシート・ワイヤーフレームを作成する。それを元に各自でデザイン・マークアップを行う。	2前	30	1		○	○	○		
○		卒業制作	2年間の集大成となる作品を各自制作する。テーマや媒体、表現方法は自由。	2後	120	4		○	○	○		
○		Webプログラミング	サーバーサイドプログラムPHPを基礎から学び、動的なサイト制作、CMSのカスタマイズを学ぶ。	2後	60	2		○	○		○	
合計					30科目			1980単位時間(66単位)				

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
当年次に30単位以上取得して、卒業判定会議で承認されること		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。